

償還 運用報告書 (全体版)

第8期<償還日2018年10月25日>

みずほ・ブラックロックグローバル農業関連株ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2011年6月9日から2018年10月25日(当初2021年6月8日)まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスXへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。	
主要運用対象	当ファンド	投資信託証券。
	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX	ボトムアップ・アプローチを中心に、主に世界各国の農業関連企業の株式に投資を行います。
	日本短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
組入制限	当ファンド	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	日本短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

愛称：食の未来

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「みずほ・ブラックロックグローバル農業関連株ファンド」は、当初、信託期間を2021年6月8日までとしておりましたが、投資信託契約を解除し、2018年10月25日をもちまして繰上償還させていただきます。ここに第8期の運用状況とともに設定以来の運用経過をお知らせいたします。

ご愛顧誠にありがとうございました。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

http://www.am-one.co.jp/

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金	期 騰 落 中 率			
4期 (2015年6月8日)	円 銭 12,695	円 1,300	% 23.3	% 95.4	% 1.3	百万円 1,482
5期 (2016年6月8日)	9,709	0	△23.5	94.8	0.9	909
6期 (2017年6月8日)	10,254	250	8.2	93.7	—	647
7期 (2018年6月8日)	10,656	350	7.3	96.9	—	558
(償 還 時) 8期 (2018年10月25日)	(償還価額) 10,697.86	—	0.4	—	—	522

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。

※投資信託証券を通じて、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございます。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	債 組 入 比 率	券 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2018年6月8日	円 銭 10,656	% —	% 96.9	% —	% —
6月末	10,394	△2.5	97.0	—	—
7月末	10,383	△2.6	97.4	—	—
8月末	10,782	1.2	96.5	—	—
9月末	11,086	4.0	96.9	—	—
(償 還 時) 2018年10月25日	(償還価額) 10,697.86	0.4	—	—	—

※騰落率は期首比。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。

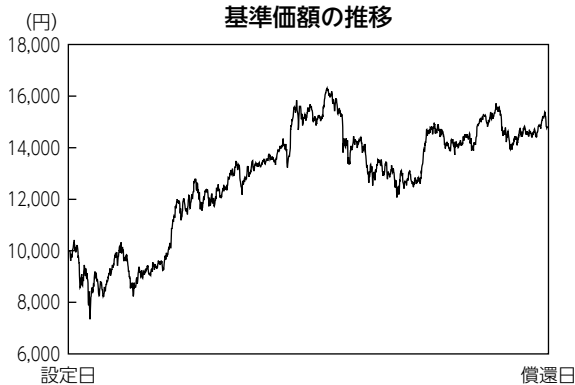
○設定以来の運用概況

(2011年6月9日～2018年10月25日)

1. 当ファンドの特色

当ファンドは、ルクセンブルグ籍外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX（以下、「アグリ・ファンド）」と申します。）円建投資証券と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指すファンド・オブ・ファンズです。アグリ・ファンドを通じて主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行い、長期的な値上がり益の獲得を目的とした運用を行います。農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。

2. 設定時から前期（第1期から第7期）までの運用経過



■ 基準価額の主な変動要因

農業関連企業の株式が上昇し、米ドルが円に対して上昇したため、設定日10,000円でスタートした基準価額は14,756円（第1期～第7期の分配金込み）に上昇して第7期末を迎えました。

■ 投資環境

● 株式市場

農業関連企業の株式は上昇しました。米国連邦政府債務残高の上限引き上げを巡る協議の難航や大手格付け会社による米国国債の長期信用格付けの引き下げ、世界的な景気減速懸念などを背景に農業関連企業の株式は2011年10月初めにかけて大きく下落しました。しかし、欧州首脳による欧州債務問題に対する包括戦略の合意や日米欧の主要中央銀行による米ドル資金供給の協調策の発表により、2012年4月初めにかけて下落幅を縮めました。5月上旬から6月上旬にかけては、スペインの債務問題やギリシャのユーロ離脱懸念を受けて一旦下落したものの、欧州の債務問題の解決に向けて新たな措置が取ら

れるとの期待やF R B（米国連邦準備制度理事会）によるQ E 3（量的金融緩和第3弾）の決定、米国の「財政の崖」問題の回避により、2013年1月末にかけて上昇しました。その後も、欧州の債務問題や米国のQ E 3早期縮小観測、世界的な景気減速懸念、原油価格の下落などを背景に一時的に大きく下落する場面が見られたものの、世界的な超低金利政策が長期にわたって維持されるとの見方から、2015年5月下旬にかけて上昇基調となりました。米国や中国の景気減速懸念、原油価格の下落により、2016年1月下旬にかけては一転して大幅な下落となりました。その後は、英国のE U（欧州連合）離脱を巡る国民投票の実施や米国の大統領選挙に対する警戒感から一時的に不安定な相場となったものの、良好な米国経済指標や企業業績の発表、米国の大統領に就任したドナルド・トランプ氏による財政・経済政策への期待などを背景に上昇基調となりました。

●商品市場

穀物価格については、世界的な景気減速懸念から2011年は軟調に推移しました。しかし、米国の高温乾燥により作柄への悪影響が懸念されると2012年夏に大きく反発しました。その後は、悪天候などにより一時的に上昇する場面が見られたものの、世界的な供給過剰懸念から下落基調となりました。

●外国為替市場

米ドルは円に対して上昇しました。世界的な景気減速懸念や欧州の債務問題などを背景に設定時に1米ドル80円近傍で推移していた米ドル・円は2011年10月末に75円台まで下落しました。日本政府と日銀による円売り・米ドル買い介入の実施を受けて反発すると、その後も大胆な金融緩和を求める安倍政権の発足や日米の金融政策の方向性の違いから上昇し、2015年6月上旬には125円台半ばでの推移となりました。しかし、米国の早期利上げ観測の後退や中国の景気減速懸念、原油価格の急落、英国のE U離脱決定などを受けてリスク回避の動きが強まると、2016年8月中旬にかけて99円台後半に下落しました。その後、トランプ大統領による政策期待から12月中旬にかけて反発したものの、同大統領の政策運営に対する不透明感が強まる中で上昇幅を徐々に縮め、第7期末時点では109円台後半での推移となりました。

●国内短期金融市場

短期金融市場において、国庫短期証券3ヵ月利回りは低下基調となりました。日銀が2013年に「量的・質的金融緩和」を導入すると、同利回りは一段と低下しました。日銀が国庫短期証券買い入れオペでマイナス金利での買い入れを行ったため、2014年9月以降はマイナス利回りとなりました。2016年1月の日銀の金融政策決定会合においてマイナス金利の導入が決定されるとマイナス幅は一段と拡大しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

アグリ・ファンドを通じて主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行い、長期的な値上がり益の獲得を目的とした運用を行いました。また、日本短期公社債マザーファンドを通じて国内の公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。アグリ・ファンドへの投資配分は概ね高位を維持しました。

●アグリ・ファンド

欧州の債務問題の深刻化を受けて、2011年後半は小型株や流動性の低い銘柄、景気の影響を受けやすい銘柄への投資を抑えるなど、ややディフェンシブなポートフォリオとしました。その後は、穀物の需給動向を注視しながら機動的にポートフォリオを調整しました。穀物価格の下落局面では肥料や農機具セクターなどの組み入れを減らし、畜産セクターなどの組み入れを増やしました。



※設定来の分配金（累計）を単純に加算しています。

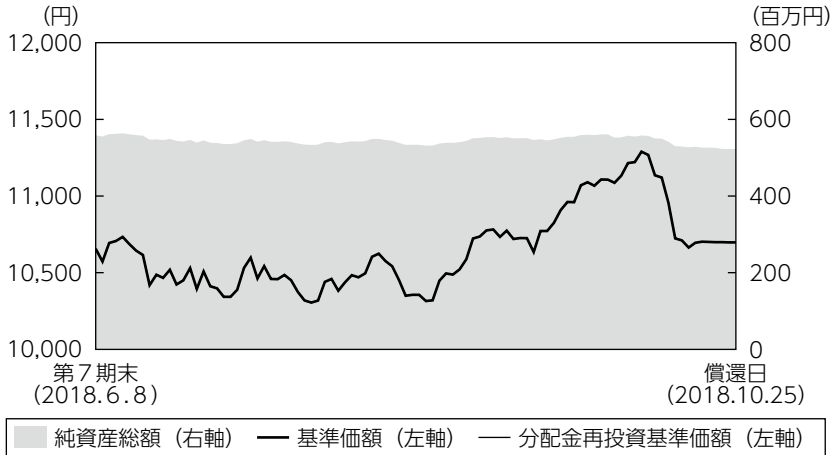
●日本短期公社債マザーファンド

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の短期公社債で運用を行いましたが、日銀によるマイナス金利の導入以降はファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、債券組入比率は低位またはゼロとしました。

3. 当期（第8期）の運用経過

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指すファンドです。農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。

農業関連企業の株式は下落したものの、米ドルは円に対して上昇したことから、第8期首に10,656円でスタートした基準価額は10,697.86円に上昇して償還日を迎えました。

投資環境

● 株式市場

農業関連企業の株式は下落しました。米国のトランプ大統領がEU（欧州連合）からの輸入車に対して関税を賦課することを示唆したほか、米国が340億米ドル相当の中国製品に対して追加関税を賦課することを発表したため、米国の通商政策に対する懸念が強まり、農業関連企業の株式は2018年7月中旬にかけて下落しました。中国との貿易摩擦によって農家に経済的被害が出ていることを受け、米国政府が農業支援策を発表すると下落幅を縮めました。米中貿易摩擦の深刻化や米国とトルコの関係悪化などを背景に8月上旬から中旬にかけて一旦反落しました。しかし、米国がメキシコとのNAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る2国間協議の合意に至ったことや、米国が2,000億米ドル相当の中国製品に対する追加関税の発動を発表したものの、関税率が想定よりも低かったことから、米国の通商政策に対する懸念が和らぎ、10月上旬にかけて下落前の水準まで回復しました。しかし、米国長期金利の上昇に対する警戒感から反落すると、その後もイタリアの財政問題や中国の景気減速、米中貿易摩擦が米国の企業業績に与える悪影響などが懸念され、下落幅を拡げる展開となりました。

● 商品市場

穀物価格については、作柄改善期待や米中貿易摩擦を受けて2018年7月中旬にかけて下落したものの、欧州の悪天候により小麦の生産や輸出見通しが引き下げると小麦を中心に下落幅を縮めました。8月上旬以降は、米中貿易摩擦の深刻化などが嫌気され、再び反落となりました。

● 外国為替市場

米ドルは円に対して上昇しました。良好な米国経済指標が発表され、米国株式市場が堅調に推移する中で、米ドルは7月中旬にかけて上昇しました。しかし、トランプ大統領がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げや米ドル高に対して不満を示したほか、日銀が金融政策を修正するとの観測が強まると、大きく上昇幅を縮めました。その後も米中の貿易摩擦の深刻化やトルコ・リラの急落を受け、8月下旬にかけて下落しました。原油価格の上昇やFRBの利上げに対する警戒感の高まりなどを背景に米国長期金利が大きく上昇したため、米ドルは10月上旬にかけて大きく上昇しました。しかし、米国の企業業績を巡る懸念などにより市場心理が悪化したため、10月上旬以降は上昇幅を縮めました。

● 国内短期金融市場

マネタリーベース、日銀保有の長期国債残高をそれぞれ増加させる金融緩和政策が続いており、国債を中心に低金利で推移しました。その結果、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス水準で推移しました。

■ポートフォリオについて

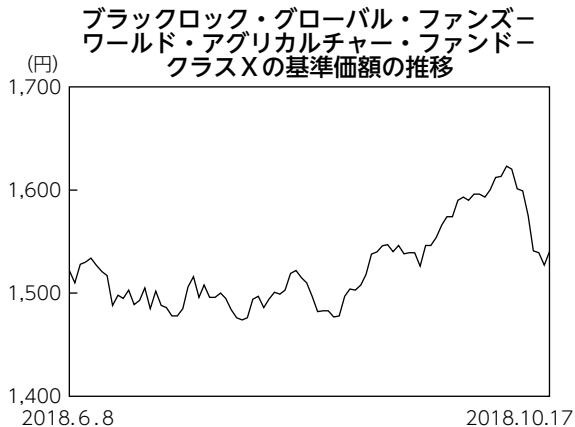
●当ファンド

当ファンドは、ルクセンブルグ籍の外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX」（以下、「アグリ・ファンド」といいます。）と国内籍投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指すファンド・オブ・ファンズです。

アグリ・ファンドへの投資配分は概ね高位を維持しました。当ファンドの繰上償還決定後、アグリ・ファンドと日本短期公社債マザーファンドを売却しました。

●アグリ・ファンド

穀物価格の動向に関係なく成長が見込める銘柄の組み入れを増やしました。ノルウェーの水産会社やカナダの健康食品会社を新たに組み入れたほか、アボカドなどの生産を手掛ける米国の食品会社の組み入れを増やしました。また、今後肥料価格は底堅く推移すると考え、一部の肥料会社の組み入れを増やしました。一方で、南アフリカやシンガポールの食品会社を売却しました。



※当作成期間における分配金を加算しています。

●日本短期公社債マザーファンド

日銀によるマイナス金利の導入以降はファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れは行いませんでした。

ベンチマークとの差異について

投資信託証券を通じて、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって、ベンチマークなどは特定していないため、グラフは掲載しておりません。

償還にあたって

2011年6月9日に当ファンドを設定して以来、長い間当ファンドをご愛顧くださり、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年6月9日 ~2018年10月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	77円	0.722%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,661円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(47)	(0.442)	
(販売会社)	(29)	(0.267)	
(受託会社)	(1)	(0.012)	
合計	77	0.722	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2018年6月9日～2018年10月25日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ アグリカルチャー・ファンドークラスX	□ 5,231	千円 7,924	□ 360,920	千円 547,170

※金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
日本短期公社債マザーファンド		千□ -	千円 -	千□ 5,267	千円 5,292

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月9日～2018年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年10月25日現在)

2018年10月25日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	期首 (前期末)
		□ 数
ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・ アグリカルチャー・ファンドークラスX		□ 355,689
合	計	355,689

親投資信託残高

銘	柄	期首 (前期末)
		□ 数
日本短期公社債マザーファンド		千□ 5,267

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2018年10月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 530,116	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	530,116	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年10月25日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	530,116,960円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	530,116,960
(B) 負 債	7,246,965
未 払 解 約 金	3,309,781
未 払 信 託 報 酬	3,935,971
未 払 利 息	1,213
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	522,869,995
元 本	488,761,302
償 還 差 益 金	34,108,693
(D) 受 益 権 総 口 数	488,761,302口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	10,697円86銭

○損益の状況 (2018年6月9日～2018年10月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	8,083,945円
受 取 配 当 金	8,097,675
支 払 利 息	△ 13,730
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,204,099
売 買 益	955,537
売 買 損	△ 3,159,636
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,935,971
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,943,875
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	15,056,528
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	17,108,290
(配 当 等 相 当 額)	(16,885,023)
(売 買 損 益 相 当 額)	(223,267)
償 還 差 益 金(D+E+F)	34,108,693

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。
- ・投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託するために要する費用（投資顧問料）として委託者報酬の中から支弁している額1,738,130円。

注記事項

- ・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額 524,063,220円

期中追加設定元本額 1,168,822円

期中一部解約元本額 36,470,740円

- ・分配金の計算過程

当ファンドは、信託約款に基づき、当計算期間末をもって償還されるため、該当事項はありません。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年6月9日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年10月25日		資産総額	530,116,960円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	7,246,965円
				純資産総額	522,869,995円
受益権口数	11,751,875,000口	488,761,302口	△11,263,113,698口	受益権口数	488,761,302口
元本額	11,751,875,000円	488,761,302円	△11,263,113,698円	1万口当たり償還金	10,697円86銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	4,107,393,636円	3,598,311,011円	8,761円	0円	0.0%
第2期	1,908,264,445	2,095,699,618	10,982	1,000	10.0
第3期	1,420,121,145	1,611,406,749	11,347	1,200	12.0
第4期	1,167,825,726	1,482,603,166	12,695	1,300	13.0
第5期	936,624,759	909,388,475	9,709	0	0.0
第6期	631,618,890	647,646,601	10,254	250	2.5
第7期	524,063,220	558,443,592	10,656	350	3.5

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 (税込み)	10,697円86銭
-----------------	------------

1. 償還金のお支払いは、償還日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 償還金が個別元本を上回る金額に対して、源泉税が徴収されます。

ブラックロック・グローバル・ファンズー ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／円建投資証券
運用方針	ボトムアップ・アプローチを中心に、主として世界各国の農業関連企業の株式に投資を行います。農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。農業関連企業の株式への投資比率を純資産総額の70%以上とし、トータル・リターンを最大化を目指します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。 ・原則として、円に対する為替ヘッジは行いません。
決算日	8月末
主な関係法人	管理会社：ブラックロック（ルクセンブルグ） エス・エー 投資運用会社：ブラックロック・インベストメント・マネジメント（UK） リミテッド 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（インターナショナル） リミテッド
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.04%（上限） 上記料率には、当ファンドの計算にかかる報酬、登録および名義書換代行事務会社報酬、税務顧問、法律顧問、ファンド監査人などへの報酬、取締役の報酬などが含まれます。ただし、上記料率は変更される場合があります。
その他の費用・手数料	この他に、保管受託銀行への報酬などが当ファンドから支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。
収益分配方針	原則として、年1回、経費控除後の配当等収益を分配する予定です。 ※分配原資が無い場合など分配を行わない場合もあります。
運用開始日	2010年2月9日

※「ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX」は、「ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンド」の個別クラスとなっております。

ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドの内容

(1) 損益及び純資産変動計算書

2017年8月31日終了年度

区分	金額 (米ドル換算)
純資産期首残高	106,579,501
収益	
銀行利息	437
集団投資スキームの収入	10,911
源泉税控除後配当金	1,860,570
有価証券貸付による収益	39,905
収益合計	1,911,823
費用	
管理事務代行報酬 (補助金控除後)	240,770
保管及び預託報酬	46,065
分配費用	120,182
税金	47,909
管理会社報酬	1,543,180
費用合計	1,998,106
純利益 / (損失)	(86,283)
投資にかかる実現純利益	5,870,729
外国為替取引にかかる実現純利益	377,390
その他の取引による外国為替にかかる実現純 (損失)	(35,357)
当期実現純利益	6,212,762
投資にかかる未実現利益 / (損失) の純変動額	(1,706,799)
外国為替取引にかかる未実現利益 / (損失) の純変動額	(27,230)
その他の取引による外国為替にかかる未実現利益 / (損失) の純変動額	6,958
当期未実現利益 / (損失) の純変動額	(1,727,071)
営業による純資産の増加額	4,399,408
投資証券資本の変動額	
投資証券発行による受取純額	51,157,145
投資証券買戻しによる支払純額	(61,636,585)
投資証券資本の変動による純資産の (減少) 額	(10,479,440)
分配金	(97,098)
純資産期末残高	100,402,371

(2) 投資有価証券明細表

2017年8月31日現在

公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券及びマネー・マーケット商品

数量	銘柄	時価 (米ドル換算)	純資産比率 %
ファンド			
908,512	アイルランド Institutional Cash Series Plc-Institutional US Dollar Liquidity Fund*	908,512	0.90
ファンド合計		908,512	0.90
普通株式 (証券)			
オーストラリア			
313,227	Elders Ltd	1,162,015	1.16
1,424,874	Highfield Resources Ltd	1,318,688	1.31
		2,480,703	2.47
バミューダ			
62,061	Bunge Ltd	4,536,038	4.52
399,475	PureCircle Ltd	2,066,218	2.06
		6,602,256	6.58
ブラジル			
243,576	BRF SA ADR	3,245,650	3.23
318,426	Marfrig Global Foods SA	730,326	0.73
380,880	Minerva SA/Brazil	1,458,373	1.45
		5,434,349	5.41
カナダ			
79,669	Agrium Inc	7,731,249	7.70
288,737	Potash Corp of Saskatchewan Inc*	4,977,826	4.96
244,859	SunOpta Inc	2,013,965	2.00
		14,723,040	14.66
アイルランド			
178,036	Glanbia Plc	3,334,537	3.32
185,044	Origin Enterprises Plc	1,409,349	1.41
		4,743,886	4.73
日本			
253,700	Kubota Corp	4,376,794	4.36
ニュージーランド			
213,155	Synlait Milk Ltd	728,686	0.73
1,284,039	Tegel Group Holdings Ltd	1,138,721	1.13
		1,867,407	1.86
ノルウェー			
127,907	Yara International ASA*	5,206,348	5.19
シンガポール			
2,160,100	Wilmar International Ltd	5,275,881	5.25

ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX

数量	銘柄	時価 (米ドル換算)	純資産比率 %
1,835,348	英国 Plant Impact Plc	694,266	0.69
47,373	米国 AGCO Corp	3,201,941	3.19
89,949	American Vanguard Corp	1,789,985	1.78
39,358	Andersons Inc/The	1,253,552	1.25
119,583	Archer-Daniels-Midland Co	4,920,840	4.90
169,273	CF Industries Holdings Inc*	4,880,141	4.86
76,873	Deere & Co*	8,886,519	8.85
18,409	FMC Corp	1,605,081	1.60
18,058	Green Plains Inc	319,175	0.32
84,409	Monsanto Co	9,874,165	9.83
147,397	Mosaic Co/The*	2,916,987	2.91
129,713	Tyson Foods Inc 'A'	8,143,382	8.11
		47,791,768	47.60
普通株式（証券）合計		99,196,698	98.80
	公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券及び マネー・マーケット商品合計	100,105,210	99.70

その他の譲渡性のある有価証券

数量	銘柄	時価 (米ドル換算)	純資産比率 %
3,268,991	オーストラリア Quintis Ltd**	232,721	0.23
83,201	英領ヴァージン諸島 Union Agriculture Group Corp**	156,418	0.16
720,000	ケイマン諸島 China Forestry Holdings Co Ltd**	—	0.00
普通株式（証券）合計		389,139	0.39
その他の譲渡性のある有価証券合計		389,139	0.39
ポートフォリオ合計		100,494,349	100.09
その他の純負債		(91,978)	(0.09)
純資産合計（米ドル換算）		100,402,371	100.00

~当該投資は関連当事者のファンドへの投資です。

*当該有価証券は貸付有価証券です。

**公正価値調整の対象である有価証券です。

'A': 議決権等に特定の規定が設けられた株式です。※

※はアセットマネジメントOneにて追記しました。

(ブラックロック・ジャパン株式会社提供の監査財務書類より作成しております。)

日本短期公社債マザーファンド

第9期 運用報告書

(決算日 2018年7月3日)

『日本短期公社債マザーファンド』は、去る2018年7月3日に第9期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰	中 落 率			
7期 (2016年7月4日)	円	%	%	%	百万円
	10,060	0.00	62.6	—	66
8期 (2017年7月3日)		△0.04	—	—	61
9期 (2018年7月3日)		△0.06	—	—	58

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

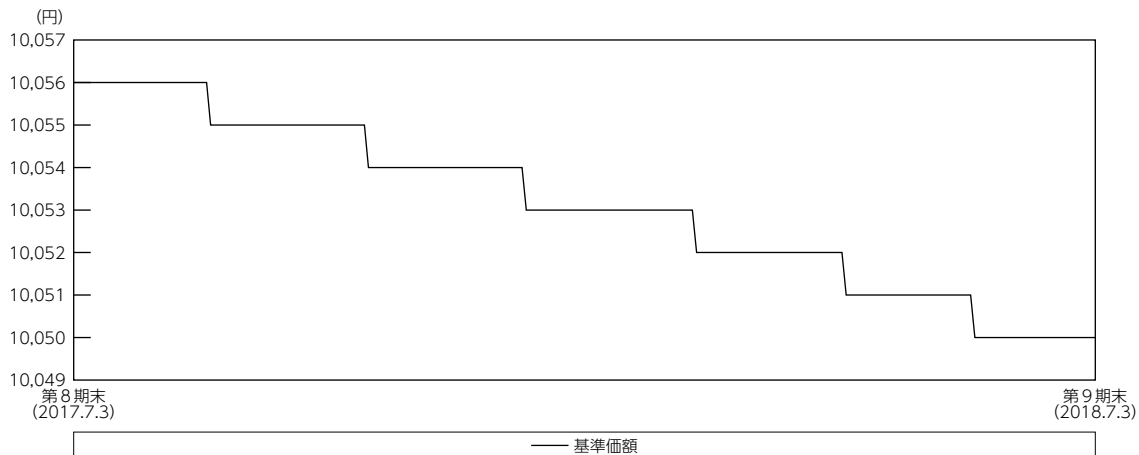
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰	落 率			
(期 首) 2017年7月3日	円	%	%	%	%
	10,056	—	—	—	—
7月末	10,056	0.00	—	—	—
8月末	10,055	△0.01	—	—	—
9月末	10,055	△0.01	—	—	—
10月末	10,054	△0.02	—	—	—
11月末	10,054	△0.02	—	—	—
12月末	10,053	△0.03	—	—	—
2018年1月末	10,053	△0.03	—	—	—
2月末	10,052	△0.04	—	—	—
3月末	10,052	△0.04	—	—	—
4月末	10,051	△0.05	—	—	—
5月末	10,050	△0.06	—	—	—
6月末	10,050	△0.06	—	—	—
(期 末) 2018年7月3日		△0.06	—	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,056円から、10,050円に6円の値下がりとなりました。

投資環境

● 国内債券市場

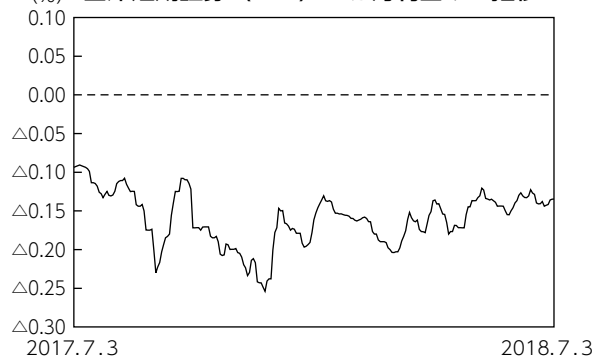
当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。

2018年4月には日銀黒田総裁の2期目がスタートしましたが、黒田総裁は1期目に続き積極的な緩和スタンスを続けていくことを表明しました。

長期間の緩和で債券市場のボラティリティは低下していますが、日銀の買いオペの金額の増減を受けて市場が動くことが多くなっています。

国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファン
ドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み
入れはありません。

■ ベンチマークとの差異について

実質的に本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特
定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がな
いため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

よって、グラフは掲載しておりません。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっ
ては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月3日現在)

2018年7月3日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年7月3日現在)

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		千円 58,809	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額		58,809	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月3日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	58,809,774円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	58,809,774
(B) 負 債	123
未 払 利 息	123
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	58,809,651
元 本	58,519,794
次 期 繰 越 損 益 金	289,857
(D) 受 益 権 総 口 数	58,519,794口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,050円

○損益の状況 (2017年7月4日～2018年7月3日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△ 41,485円
支 払 利 息	△ 41,485
(B) 当 期 利 益 (A)	△ 41,485
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	346,550
(D) 解 約 差 損 益 金	△ 15,208
(E) 計 (B+C+D)	289,857
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	289,857

・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	61,501,902円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	2,982,108円
期末元本の内訳	
みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド	5,267,461円
短期ハイイールド債券ファンド (ヘッジあり)	995,620円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,905,959円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,922,043円
新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	5,069,672円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,093,509円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	99,473円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,976,144円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	994,036円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	49,702円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	397,615円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	12,417円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	99,404円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	994,036円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	397,615円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	497,018円
新光バンクローン・ファンド (円ヘッジ型) 2015-09	2,982,108円
新光バンクローン・ファンド (円ヘッジ型) 2015-12	993,937円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	795,387円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,485,584円
合 計	58,519,794円